

令和５年度 職員の給与の男女の差異の情報公表

特定事業主名： 京都市上下水道局

１．全職員に係る情報

職員区分	男女の給与の差異 (男性の給与に対する女性の給与の割合)
任期の定めのない常勤職員	８０．１％
任期の定めのない常勤職員以外の職員	７２．２％
(暫定再任用職員)	(９０．７％)
(フルタイム会計年度任用職員)	(１００．１％)
(パートタイム会計年度任用職員)	(１０８．４％)
(臨時的任用職員)	(９９．５％)
全職員	８２．１％

＊ 職員の給与については、条例で定める基準に基づき決定しており、給与制度上、男女で差異は設けていない。

＊ () 内は、「任期の定めのない常勤職員以外の職員」に係る内訳。

＊ 「任期の定めのない常勤職員以外の職員」全体の差異は、任用・勤務形態ごとの給与水準、男女の構成比率等が異なるため、内訳の単純平均とならない。

２．「任期の定めのない常勤職員」に係る役職段階別及び勤続年数別の情報

(１) 役職段階別

役職段階	男女の給与の差異 (男性の給与に対する女性の給与の割合)
局長級・部長級	—％
課長級	９８．２％
係長級	９４．６％

＊ 局長級・部長級には女性の職員がいないため、「—」表示となっている。

(２) 勤続年数別

勤続年数	男女の給与の差異 (男性の給与に対する女性の給与の割合)
３６年以上	８５．７％
３１～３５年	８６．６％
２６～３０年	８６．０％
２１～２５年	８２．６％
１６～２０年	８７．０％
１１～１５年	７７．９％
６～１０年	８６．８％
１～５年	９１．２％

【説明欄】

[任期の定めのない常勤職員に係る男女の給与の差異の主な要因]

- これまでの採用状況等の影響により、女性職員の平均年齢が男性職員より低いこと
- 係長級に占める女性職員の割合が相対的に低いこと。引き続き、女性職員の一層の昇任意欲の喚起等に取り組む。
- 部分休業等、仕事と子育てが両立できる制度の利用が女性職員に多いこと

* 勤続年数は、採用年度を勤続年数１年目とし、情報公表の対象となる年度までの年度単位で算出している。